

バイオジェット燃料生産技術開発事業 技術動向調査

公募説明会資料 (公募概要)

2024年2月27日(火)

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
新エネルギー部 バイオマスグループ

- 本資料は特に重要な点について、抜粋して説明しております。
- 詳細については、HPに掲載されている公募要領や仕様書の記載事項をご確認ください。

- **調査の概要** … p4～p11
 - 調査の背景、目的、基礎情報、範囲
手法、体制、項目、成果公表

- **応募の方法** … p12～13
 - 必要手続き、必要書類

- **審査の流れ** … p14～16
 - 審査委員会、基準、スケジュール

◆ 調査の背景

仕様書 p.1
公募要領 p.3

<背景>

- ★現状、廃食油由来HEFAや第一世代エタノール由来ATJ等により、2030年の供給目標に対する取り組みが進む。
- ★2050年までのカーボンニュートラルという長期目標に対する需要を満たすためには、多様なSAF生産技術の開発が必要。（= **既存技術の改良や新規技術の発掘が肝要**）
- ★2023年度の技術動向調査にて、
今後技術開発が必要となる6分野を特定。
（上記調査にて俯瞰的な検討は終了。
今回は各分野を詳細に深掘する調査を実施）
参考：2023年度 調査報告書抜粋 [100970510.pdf \(nedo.go.jp\)](https://nedo.go.jp/100970510.pdf)

◆ 調査の目的

<目的>

- ★ 特定した6分野において、社会実装に向けた課題・解決法の整理、調査結果の周知を通して、将来の技術開発を促進。
- ★ 具体的には、以下の観点の検討を行う。
 - ・ 技術的・社会的課題や解決手法
 - ・ 想定するサプライチェーンの検討
 - ・ 社会実装に向けた道筋の検討

◆ 基礎情報

★件名： バイオジェット燃料生産技術開発事業／
技術動向調査

★事業形態： 委託事業（1/1 NEDO負担）

★事業期間： NEDOの指定する日から2025年3月31日まで
（→現状、2024年5月中旬頃開始を予定）

★予算額： 1件あたり30百万円未満
（→6件程度採択予定。全体で200百万円程。）

◆ 調査の範囲

仕様書 p.1
公募要領 p.3

以下より提案分野を選択ください。(※)

生産技術分野

- ① バイオマスガス化・FT 合成
- ② ATJ (Alcohol to Jet)
- ③ DtL (直接熱化学的液化)
- ④ Co-processing
- ⑤ PtL (Power to Liquids)

原料分野

- ⑥ 原料開発・調達

(※) 生産技術分野以外に、2040年ごろの SAF 生産技術の多様化に資する、その他の技術分野も提案可

◆ 調査の手法

仕様書 p.2

- ★ 分析外注による、機械装置等を用いたデータ取得
(原料の成分データ、コスト試算など)
- ★ 論文や公表データを用いた文献調査
- ★ SAF関連事業者へのヒアリング
- ★ 有識者へのヒアリング、あるいは委員会形式での評価
- ★ 現地調査
(国外でのヒアリング、フィールドワークなど)

◆ 調査の体制

公募要領 p.4

★本調査では、単独事業者による調査のみならず、共同提案、再委託の提案が可能です。

○共同提案

- ・複数の事業者が連帯して、提案される調査内容を実施すること。
- ・なお、各々の役割分担が明確化されていることが必要です。

○再委託

- ・提案者が実施する調査内容の一部を、さらに第三者に委託すること。
- ・仕様に基づく単なるデータ取得作業や分析は外注。

【留意点】

- ・再委託の額は契約金額の**50%未満**とします。
- ・国外企業との連携をする場合は、**再委託または外注**により可能です。

1. 調査の概要

◆ 調査の項目

仕様書 p.2

○ 技術的・社会的課題や解決手法

- ・ 既存の技術・原料に対する新規性、独自性、優位性の評価
- ・ 実用化に向けた技術的・社会的な課題の抽出と解決手法の提案

○ 想定するサプライチェーンの検討

- ・ 想定する原料調達からニートSAF生産、供給までのサプライチェーン
- ・ 原料調達、ニートSAF生産それぞれのフェーズにおけるコスト分析、CORSIA等で定められた持続可能性基準への適合性評価（GHG削減効果含む）、原料や中間体等の成分分析及び整理

○ 社会実装に向けた道筋の検討

- ・ 研究、実証、実用化の各フェーズにおいて想定する、実施場所・生産量・予算規模などの検討
- ・ 生産プロセスで発生する併製品の利活用を含めたビジネスモデル

◆ 調査の成果公表

仕様書 p.2-3

【重要事項】

① 中間成果発表

- ★ **2024年10月31日**までに、中間報告資料(Powerpoint)を提出。
- ★ 11月～12月頃にワークショップやWebでの公表を行うと共に、調査分野に関心のある事業者への成果発信、ネットワークの構築を実施。

② 最終成果発表

- ★ **2025年3月31日**までに、最終調査報告書(word)を提出。
(後日NEDO成果報告データベースにて公表します)
- ★ 中間成果発表で得られた業界内外からの意見・フィードバック等も含めて最終報告。

提案書類 p.1
公募要領 p.4

◆ 必要手続き

① 提案書類の作成

- ・ 「提案書類」(word資料)をご参照いただき、提案書本文、その他添付書類(財務諸表等)をPDFで作成。
- ・ 作成したファイルは1つの**Zipに纏めてください**。

② システムでの応募

- ・ 以下リンクより応募システムに入ってください、必要事項(調査目標、課題、過去実績の記述含む)を記入の上、最下部に①で作成した提案書一式をアップロードし、提出ください。

【応募システム】 <https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/oq58yyps42ysl>

【提出期限】 **2024年3月19日(火) 正午 アップロード完了**

◆ 必要書類

以下資料をご提出ください。

- 別紙1：提案本文、別紙2：ワーク・ライフ・バランス認定状況
- 別紙3：情報管理体制
(HPにExcel様式を掲載。こちらを記載のうえ提出ください。)
- 会社案内
- 直近の事業報告書
- 直近3年分の財務諸表（貸借対照表、損益計算書）
(審査の過程で、追加資料の提出を依頼する場合があります。)

◆ 審査委員会

提案書類 p.1-2
公募要領 p.6

- 外部有識者による採択審査委員会（提案者プレゼン）と、NEDO内で実施する契約・助成審査委員会の2段階で審査。
- 採択審査委員会では提案書内容を審査し、調査事業者候補を選定。
なお審査の結果、調査範囲を指定する場合があります。
- 契約・助成審査委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定。

【留意事項】

- ★必要に応じて追加資料を依頼する場合があります。
- ★審査の経過、結果等に関するお問い合わせには一切応じられません

◆ 審査基準

- a. 調査の目標がNEDOの意図と合致していること。(仕様書を参照)
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経費に対して見込まれる成果が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置（経理事務、進捗報告等）を適切に遂行できる体制を有していること。

◆審査スケジュール

2024年

2月27日 (火) : 公募説明会

3月19日 (火) : 公募締切り

4月中旬 (予定) : 採択審査委員会 (外部有識者による審査)

4月下旬 (予定) : 契約・助成審査委員会 (NEDO内部での審査)

5月上旬 (予定) : 調査実施者 決定、事業開始